

平成18年度第3回社会教育委員会議（要録）						
開催日	平成19年 1月16日（火）			開会時間	13時33分	
会場	403会議室（庁舎4階）			閉会時間	14時50分	
委員の出 席	出	三澤 善道	欠	田中 勇	出	清水 佳子
	出	佐々木 巖	出	富澤 美代	出	大谷 鐵子
	出	本橋 晃	欠	富岡 健治	出	川崎みち子
	出	柳下 雅弘	欠	斎藤 和康	出	井上 真弓
	欠	小黒 和夫	出	松原 延子	出	井上 明次
	出	村山喜三江	出	加藤アヤ子		
	出	石井 康隆	出	浪間 貞	議長	副議長
傍聴者	なし					
事務局	今城教育長、大寺スポーツ青少年課長、柳下課長、高田課長補佐、星野専門員					
議題	1 平成19年度生涯学習事業計画について 2 放課後子どもプランについて					
発言者	議 事					
事務局	1 開 会 それでは、ただ今から平成18年度第3回社会教育委員会議を開催いたします。 会議にあたりまして柳下議長から、ごあいさつをいただきたいと思ひます。					
議長	あいさつ 今年ももう1月半ばということで、年が明けて2週間がたってしまいました。 最近、バラバラ殺人事件があったり台風みたいな風が吹いたり雪が不足したりと、異変等が 続いております。					
事務局	和光市では、体育館の建設というようなものもござひますし、社会教育においてもさまざまな 面があるようです。今日は第3回ということで、よろしくお願ひいたします。 （教育長あいさつ） ありがとうございます。それでは、柳下議長お願ひいたします。					
	2 議 事 (1) 平成19年度生涯学習事業計画について					

議長 それでは、議事に入らせていただきます。平成19年度前期事業報告ということで、事務局の方からお願いいたします。

事務局 「平成19年度生涯学習担当事業計画」 (別紙 資料に基づき説明)

「平成19年度文化財保護事業予定について」 (別紙 資料に基づき説明)

「平成19年度生涯スポーツ振興事業計画」 (別紙 資料に基づき説明)

「(仮称)和光市総合体育館新築工事」 (別紙 資料に基づき説明)

議長 これらについて、質問等ございますでしょうか。

井上(明) 委員 放課後子ども教室と地域子ども教室という両方の名称が出ているようですが、読み方の整理をしていただきたいと思いますのですが。

議長 いかがでしょうか。

事務局 これについては、放課後子ども教室というかたちで、来年度取り組みたいと思います。

事務局 19年度生涯学習事業計画ということで市民大学、人権講演会、成人式等何かご意見があればいただきたいと思いますが。

議長 いかがでしょうか

大谷委員 団塊の世代の人たちを迎え入れる事業ということで、何か具体的に考えているのでしょうか。

事務局 具体的にはありませんが、例えば古民家の管理や放課後子どもプランのサポーター等として考えていくことはできるとは思います。

議長 その他ございますか。

新しく体育館ができるわけですが、体育館を利用した事業みたいなものはわかりますか。

事務局 指定管理者制度を取り入れることが決まったことから、今後は、年間を通しての体育館利用促進の考え方を、年度内に調整をして進めていきたいと思っております。

議長 5月オープンということですが、議員さんや関係委員など見学することはできるのでしょうか。

事務局 オープン前に、内覧会などを予定していきたいと考えています。

議長 他にございますか。なければ次へ進めさせていただきたいと思います。

(2) 放課後子どもプランについて

事務局 「“放課後子どもプラン”平成19年度概算要求の概要」、「“放課後子どもプラン”推進のための連携方策」 (事務局説明)

議長 平成19年4月から本町小、第四小で、毎日開催するのですか。

事務局 19年度は2校で、開催は週2回程度考えています。

議長 進捗状況というのは、いかがなものでしょうか。

事務局 学童保育クラブと地域子ども教室とが連携をして、子どもプランをやっていくということになります。19年度は2校の予定ですが、将来的には学校区ごとに増やしていくということです。

和光市の場合、空き教室が少ないというようなことですので、全国的な状況とは違ってくると思います。

井上(真) 学童保育は費用がかかります。誰でも来ていいところと、学童とはうまくいくのですか。

委員	
事務局	学童は指定管理者になっておりまして、学童保育クラブから放課後子ども教室の方へ来てもらうということになると思いますので、子ども教室から学童の方へ行くことはないと思います。その中でできることを今後考えていきたいと思います。
議長	2本できているのを1本化するのがむずかしいということのようです。和光市はどうやって進めていくのか。市町村も模索していかなければいけないと思います。
村山委員	開催は本町小と第四小、次に北原小というような話しですが、学校によっては行ける子ども行けない子どもが出てくると思います。
事務局	通える範囲を検討しなければいけないと思います。条件にあったところから、試行的にやっていきたいと思います。
議長	これらの事業が子どものためになればよろしいかと思います。
松原委員	地域子ども教室で第三小でドッチボールをやっているのですが、土・日にやっている野球やサッカーなどのクラブに入れないうち子どもたちが来ていて、みんな楽しくやっています。
村山委員	放課後子どもプランの開催日は、いつを考えていますか。
事務局	曜日はまだ考えていません。
井上（明）委員	古民家の地域子ども教室は、月曜日に実施しています。
本橋委員	学校が終わるのは3時頃、低学年高学年ともどうやっていくのが課題だと思います。特に遠距離の場合をどう考えていくのか。
事務局	学校区で一つの開催ということになっています。
議長	実施は4月からということで、何かありましたらお願いいたします。
大谷委員	地域子ども教室の中でのスポーツも、このまま続けられたらいいと思います。
事務局	来年度も継続し、いいことは続けていきたいと考えています。
	3 その他
	(1) 社会教育委員の定数削減について
議長	多いなということ意識したことはあります。やるとなると条例の改正が必要になります。
事務局	20人を15人以内をしたいということです。7月からの任期に間に合わせたいと考えています。
議長	15人以内の条例が可決されれば、選出母体については近隣市を参考にさせていただけたらいいでしょうか。
事務局	皆さんご理解いただけたらと思います。
井上（真）委員	1回解散して、選出母体を考えるというのもあるかと思います。
事務局	任期は2年ですので、時期の状況に合ったものを考えます。
議長	選出母体の決定はむずかしいと思います。削減は適正にするのはいいと思います。

井上（真）
委員

いろいろな人がやってみればいいと思います。

議 長

それではよろしいでしょうか。

事務局

成人式も終わったということで、ありがとうございました。

大谷委員

年々よくなっていくようです。今年はよかったなと思いました。

議 長

他にございますか。ないようでしたら、これで会議を終わらせていただきます。ありがとうございました。